

2024年11月6日

当社社員が第66次南極地域観測隊の隊員に決定しました

MOL マリン&エンジニアリング株式会社（社長：菊地 和彦、本社：東京都港区、以下 MOLMEC）海洋事業部に所属する観測技術員中尾眞子が第 66 次南極地域観測隊の夏隊隊員に決定しました。（註 1） 2025 年 2 月末から南極観測船「しらせ」に約 40 日間乗船し氷海域での海洋観測作業に従事する予定です。



南極観測船「しらせ」（提供：国立極地研究所）

第 66 次観測隊は観測隊史上初となる豪州フリーマントルと南極大陸間を 2 往復する 2 レグ体制で研究観測を実施し、重点研究観測テーマは「過去と現在の南極から探る将来の地球環境システム」です。

レグ 1 では、主目的である昭和基地に滞在する越冬隊の交代に加え、ドームふじ観測拠点 II における各種観測を実施。また、レグ 2 ではサブテーマ「氷床—海氷—海洋結合システムの統合研究観測から探る東南極氷床融解メカニズムと物質循環変動」のもと、東南極最大級の氷河であるトッテン氷河沖での集中海洋観測を実施します。（註 2）

中尾が参加するレグ 2 のトッテン氷河沖の観測航海では、CTD/RMS(Conductivity, Temperature, Depth / Rosette Multi-bottle Samplers : 採水システムが付いた、水温、塩分、圧力プロファイラー)を用いた各所での測定に加え、遠隔操作型の無人探査機を使った氷の下の観測、海氷サンプル採取、船上での大気観測などを行います。これらは、氷河までの暖かい海水の移動メカニズムを明らかにし、氷の溶け方への影響や氷河の海への流れ方がどう変化してきたかの解明、生態系への影響、大気及び海洋循環に影響を与える雲の形成過程の解明も目指しています。（註 3）

中尾は観測技術員として海洋研究開発機構(JAMSTEC)の学術研究船「白鳳丸」における観測支援業務で培った技術を生かし、CTD/RMSによる採水業務をはじめ氷海域での様々な海洋観測作業に従事します。

商船三井グループではサステナビリティ経営の1つとして海洋・地球環境の保全を掲げています。今回の南極観測隊への当社社員の参加を通じ、国際的な問題となっている海水面の上昇や気候システム変動の解明の一助になることを期待しています。

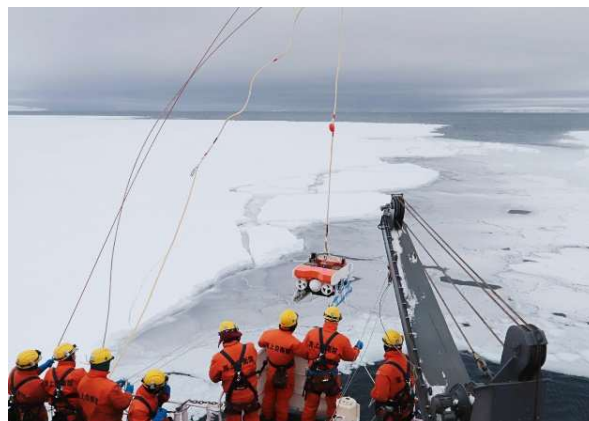
(註1)：[第66次南極地域観測隊員及び同行者の追加決定について：文部科学省](#)

(註2)：[第66次南極地域観測の基本的な考え方と行動計画案、並びに隊員等の決定について | 南極観測 | 国立極地研究所](#)

(註3)：[重点研究観測 | 観測課題 | 南極観測 | 国立極地研究所](#)



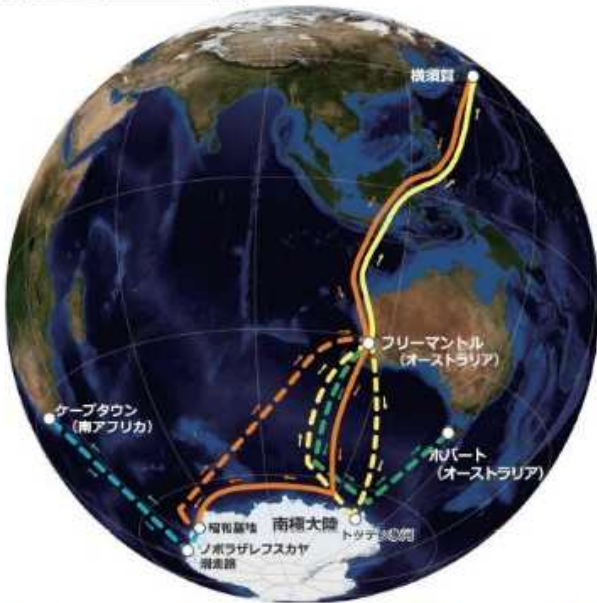
CTD/RMS：採水システム付き水温・塩分・圧力による深度測定装置による観測の様子（提供：国立極地研究所）



ROV(Remotely Operated Vehicle：遠隔操作型有索無人探査機)による観測の様子（提供：国立極地研究所）

～第66次南極地域観測隊行動実施計画～

経路とスケジュール



本隊「しらせ」



- ―― 往路
- ―― レグ1復路
- ―― レグ2
- ―― 復路

R6. 11.20	横須賀出港
12.5	観測隊出国 (成田)
12.5	フリーマントル入港・乗船
12.9	フリーマントル出港
R7. 1.2	昭和基地接岸
2.8	昭和基地最終便出発
2.22	観測隊レグ2乗船者出国 (成田)
2.23	フリーマントル入港
2.24	観測隊下船 (レグ2以外)・出国
2.25	観測隊 (レグ2以外) 帰国 (成田)
"	観測隊レグ2乗船
2.26	フリーマントル出港
3.5	トッテン氷河沖観測開始
3.25	トッテン氷河沖離脱
4.3	フリーマントル入港
4.4	観測隊レグ2下船
4.5	観測隊レグ2帰国 (成田or羽田)
4.22	横須賀帰港

先遣隊DROMLAN



R6. 10.27	観測隊出国 (成田)
10.31	ケープタウン出発
11.1	昭和基地到着
R6. 11.1	内陸旅行
～R7.1.31	
2.23	フリーマントル入港
2.24	しらせ下船 帰国 (成田)

別動隊「海鷹丸」



R6.11.26	豊海出港
R7.1.6	フリーマントル入港
	観測隊出国 (羽田)
1.7	観測隊乗船
1.11	フリーマントル出港
2.7	ホバート入港
2.9	観測隊下船・出国
2.10	観測隊帰国 (羽田)
3.1	豊海帰港

出典：「別紙1_第66次南極地域観測隊行動計画」(文部科学省)

(https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2023/1418062_00004.htm)

【MOLMEC から派遣される隊員の略歴】 中尾 眞子 (なかお まこ)

2022年にMOLMEC入社。海洋研究開発機構(JAMSTEC)の学術研究船「白鳳丸」に観測技術員として乗船し、船底固定観測装置の運用・保守を担当。

以上